

チップを採用した地域貢献プロジェクト

輪島・白米千枚田
あぜのきらめき
2012.11.10 - 2013.2.17

世界農業遺産認定「能登の里山里海」
輪島・白米千枚田

太陽の恵みをLEDの光に換え、
夜の千枚田を彩る
壮大なイルミネーション。
散策道を歩けば、
ロマンチックな光の海。

ボランティア(定員200名)
「ほたるびと」募集
11月10日(土)に、ツアーLEDの
設置をしていただく
ボランティアスタッフを募集します。
募集締切：11月2日(金)
詳しくはQRコードを
ご覧ください。

全て太陽光による
イルミネーションイベントは
自然エネルギーのすばらしさを
伝えます。

30,000個のキャンドルを灯す大イベント「あぜの万燈」の
キャンドルをソーラーLEDに変えて再現。一面ピンク色に
染めく幻想的なイルミネーションをお楽しみいただけます。

WJはイメージです

【期間】
2012年11.10(土)▶2013年2.17(日)
午後5時～9時
※点灯時間は当日の日照によって短くなる場合があります。

輪島市交流政策部観光課 〒928-8525 石川県輪島市二ツ屋町2-29 TEL.0768-23-1146 (E-mail) kankou@city.wajima.lg.jp
http://wajimanavi.lg.jp/

輪島市の国名勝「白米(しろよね)の千枚田」で開催されているイルミネーションイベント「輪島・白米千枚田あぜのきらめき」が2012年11月14日、「太陽光発電LED(発光ダイオード)最大ディスプレイ」のギネス世界記録として認定された。LEDの点灯数は、計2万461個。尚、このイベントは2013年2月17日まで実施される。

輪島市地域貢献

2011年能登半島で日本で初めて“世界農業遺産”(能登の里山里海)認定された事を契機に輪島市の観光振興促進を目的に左記のイベントが計画されました。

本イベントでは、自然環境が大きなテーマとなり、自然エネルギーの活用が必須です。そこで、太陽光によるイルミネーションが計画されました。

しかし、能登半島の冬は曇天が多く厳しい環境下で実現する必要があります。

この為に、消費電力の少ない高効率のLEDが必須となり、豊田合成様のLEDチップが採用されました。この結果、2011年は11月中旬から1月中旬の最も日照時間の厳しい環境でも59日間の会期中点灯し多くの観光客の誘致に成功しました。

2012年は更に規模と期間を拡大し、同一会場での独立太陽電池によるイルミネーションとしては、世界最大のイベントとなりギネスブックにも申請される計画です。

また、当地である輪島 白米千枚田はトヨタ自動車様のEVモデル地域としてEVスタンドも設置されています。

豊田合成様は地域に大きく貢献しています。